

最新の心理カウンセリング技法 FAP によって その人本来の魅力を引き出す



心理相談室 セラペイア

〒143-0024
東京都大田区中央 4-11-9
TEL 03-3775-1225
URL <http://www.therapeia.jp>

Company data

関東学院大学客員研究員 / 米国臨床心理学修士 /
ストレスケア カウンセラー / 経営労務コンサルタント

三井 純人

早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒。都内の法律事務所を退職後、様々なセラピーを学び、依存症の権威である精神科医 斎藤学氏の下でカウンセラーとしての経験を積む。そこでの経験を活かして、心理相談室 セラペイアを設立。

いる宝を見出してあげるということですね。説明が難しいところですが、私が共感した内容を簡潔な言葉に変換して、クライアントに目をつぶって聞いてもらう。ただそれだけで根深いトラウマを根本的に解消することができるんです。

川崎 ト라우マといえば、多かれ少なかれ、どんな人でも持っているもの。

三井 そうなんです。それによって、無意識レベルで本人の能力にブレーキがかかってしまうことも。例えば、会社の経営がうまくいかない、営業マンが成績を残せない、或いはスポーツ選手が記録を伸ばせないというも、隠れた心の傷に起因している可能性は高いのです。潜在能力をフル活用するという意味で「自分は健康そのものだ」と思っている方にもぜひ一度来て頂きたいですね。

川崎 カウンセリングがもっと身近なものになっていくといいですね。

三井 ええ、アメリカではカウンセラーと契約することは1つのステータスです。日本もそういった状況に少しでも近づいてほしいですね。相談者の心が癒されると、私自身もその方から力を頂けるんです。それが次のカウンセリングに向けての活力になり、癒しの循環が生まれます。この仕事を通じて、より多くの笑顔をつくっていききたいですね。

川崎 さっそくですが、心理カウンセラーとして活躍されるまでの経緯を聞かせてください。

三井 以前、法律事務所に勤めていたときに過度なストレスから心のバランスを崩してしまい、仕事もできない状況が続きました。自分の人生を立て直す意味でもカウンセリングやセラピーを学ぶことを決意。その中で、依存症の泰斗とも言える斎藤学先生の下で学びを得て、心理相談室 セラペイアを開設したのです。

川崎 ご自身の経験をもとにした開業だったのですか。どのように心の病に対応していくのですか？

三井 FAP（不安からの解放プログラム）という特殊技法を使ってカウンセリングを進めています。これは、東洋医学における経絡と臓器の繋がりを応用し、

さらに最新の脳科学の成果を取り入れたもの。これによってクライアントの心の無意識部分と同調し、身体レベルでの深い共感を生み出すことができます。その深い共感がクライアントの心を癒すのです。私が何かアドバイスをするのではなく、自然にその人らしい生き方ができるようになっていくんですね。



川崎 クライアントが本来持つ力を引き出すという感覚なのでしょうか？

三井 ええ、その人自身の内側に眠って



Guest Comment

川崎 麻世（俳優）

心の病を持っていないと思っている人でも、本人が自覚していないだけかもしれないという話は実に興味深かったです。外傷とは違って、誰の目にも明らかなものではないだけに、それに対するしっかりとした理解と自身を見つめ直す時間が必要でしょうね。

